

学部学生の皆さんへ

保健管理センター・新型コロナウイルス感染症対策本部

### 課外活動での会食について

COVID-19 第3年の2022年も師走に入りました。これから年度末まで、様々な会食の機会があることと思います。現在の本学の活動制限は「レベル0.5」で本学の段階別活動制限[詳細版]の「学生の課外活動」の記載では、「会食の機会は感染リスクが高まることから、その必要性や感染発生時の対処を十分に考慮して参加を検討すること。」となっていて絶対禁止とはされていません。具体的には、それぞれの課外活動の内容によって違いがあると思いますので、実施するか控えるか、実施の場合に対策をどうするか等については、感染状況も考えて、皆さんが一番適切と考える方針をとってください。いくつか考える要素があると思いますのでご参考に以下に記します。

#### 1. 感染の状況

・陽性者数の推移： 本年1月より本学の学部学生の陽性例累計は250名を超え、12月現在、1日1例程度の陽性例が出ています。典型的には、咽頭痛で始まり38～39℃程度の発熱が1～2日続いて、療養期間1週間の自宅療養で、修学にもどれる方がほとんどです。入院になった方は1名あり軽快退院されました。

・課外活動での陽性者： 8月の合宿では2団体で複数(5例以上)の陽性例がありました。11月には1団体の試合で複数(5例以上)の陽性例がありました。グループで行う課外活動では、特に事前の健康観察がポイントです。活動前の1週間しっかり健康観察をして、体調がすぐれないときには、課外活動への参加は控えて下さい。

・感染対策： 9～12月の学部学生陽性者60例のワクチン接種状況は、2回接種95%、3回接種73%、4回接種13%でした。課外活動を楽しみにしている人も多いと思いますが、活動にあたっては、自治体等のワクチン追加接種の積極的な利用を考慮いただくとともに、こまめの手洗い、室内・車内でのマスク、換気等の感染対策に留意してください。

#### 2. 修学に関して

・国家試験： 昨年度は、陽性で療養中の方は受験できず、追試の機会も設けられませんでした。本学でも直前の1月まで受験学年の陽性者がありましたが、幸いに試験を受けられない方は出ませんでした。今年も同様と考えて対策を取る必要があります。

・臨床実習： 上記の段階別活動制限の記載に「臨床実習参加1週間前より課外活動は控える」というルールがあります。実習前～実習中のアルバイトや課外活動、同居家族以外との飲食をしないよう指導があつて感染対策上のルールを守る誓約書を求める学科もあります。十分に留意してください。

### 3. 会食

・会場：会食の際は、密を避け、換気に注意して、対策を徹底しているお店を選んでください。

・健康観察：同席のグループ内に感染者がいると感染リスクがあがると考えられます。事前の健康観察をしっかりと行ってください。

・感染対策：グループ内での身体的距離の確保、飲食中以外のマスクの装用、箸やスプーンなどを共有しないことに留意してください。20歳以上の皆さん、お酒はなるべく控えましょう。

### 4. 感染発生時の対処

・受診：現在流行中のオミクロン株は軽症で済むことがほとんどですが、高熱の場合にはインフルエンザと区別がつかないこともあります。発熱外来を実施しているお住まいの地域の医療機関を予約し相談してください。受診先は各自治体のホームページや厚労省のホームページを参考にしてください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html)

・連絡：他者への感染性は発症の2日前から生じています。速やかに陽性となったことを教務係にメールで連絡してください。部活に参加した場合や接触のあった友人には、ご自分が陽性となったことをご知らせください。

・療養：発症日の翌日から7日間経過(発症日を0日目としてカウント)し、かつ症状軽快後24時間経過するまで出席停止となります。症状が遷延する場合には保健管理センターにご相談ください。

・同居家族：家族内で感染があった場合にも濃厚接触者にあたりますので教務係に連絡してください。家庭内では感染者はできるだけ動線を分けて療養してください。